

ウーバーイーツの報酬アルゴリズムに関する 調査のお願い

公正取引委員会 御中

ウーバーイーツユニオン

先日、ウーバー社に「報酬アルゴリズムの不明点と報酬アルゴリズム変更疑惑に関する説明の要求」という書面（別紙1）を郵送しましたが、会社からの回答（別紙2）は不明点や疑惑に関する内容はなく、「労働組合に該当しないので回答する立場がない」や「懸念点があればアプリから個別にお問い合わせください」といった内容で、誠実さに欠ける回答結果でした。

つきまして、公正取引委員会への申告を通じて、ウーバーイーツの報酬アルゴリズムを調査いただきたくお願い申し上げます。

ウーバーイーツの報酬アルゴリズムは、2021年3月から5月にかけて全国に段階的に適用された報酬改定以降、一部メディアで報道されたように「ダイナミックプライシング」と呼ばれる、注文数と配達員数の需給バランスによって決定されるとされています。（会社による現在の報酬アルゴリズムの詳細説明は以下の通りです。）

■ウーバーイーツによる報酬アルゴリズムの説明

<https://www.uber.com/jp/ja/deliver/earnings/delivery-fares/>

●基本金額

配達で獲得する配送料の基準となる金額です。

この金額は**配達に費やす予定の時間**、および**商品の受け取り場所や届け先が複数あるかどうか**を基に算出されます。

また、**注文数**や**稼働中の配達パートナーの人数**によっても、この基本金額は変動します。

●配達調整金額

以下のような特定の状況において、基本金額に加えて配達調整金額が加算される場合があります。

- ・通常の目安よりも**交通状況が混雑**している場合
- ・通常の目安よりも商品受け取り場所での**待ち時間が長い**場合
- ・配達パートナーの数が少なく通常よりも配達の**需要が高い**場合

2024年5月にも報酬が改定された際は、前回の改定が一週間前の告知だったことを公正取引委員会から指摘されたこともあり、一ヶ月前に告知が行われたものの、具体的な説明は一切ありません。

現在の報酬の下限は320円となっていますが、それ以前の下限300円がなぜ320円に変更されたかの説明も一切なく、

以前は、距離や車両によって異なっていたものが、改定後は

車両種別に関わらず、15分以内の配達には320円が提示されるようになりました。（図1）

一方で、配達員の間で「まぐろ」や「くじら」などと呼ばれる1件あたり3000円の高額案件も存在します。

配達予定時間や距離が最低単価の320円の案件より短い場合もあります。（図2）

他サービスの送料を見てみると、宅急便で関東から関東に送る場合の料金は、

最小サイズが720円、最大サイズが3720円と価格差は約5.2倍です。（表1）

同様に、バイク便の1kmと10kmの配達の価格差を見ても約3.6倍です。（表2）

ウーバーイーツで1件運ぶ場合の最低単価320円と最高単価3000円は約9.4倍になります。

配達する商品自体の金額（ステーキやお寿司など高額商品）や重量などを考慮しても、この価格差は妥当なのでしょうか？

宅急便やバイク便と比較しても、価格差が大きすぎるのではないのでしょうか？

「ダイナミックプライシング」とは言われていますが、320円と3000円の価格差がどのような基準で決定されているのか、会社に明確な説明を求めます。

■ウーバーイーツ（自転車）

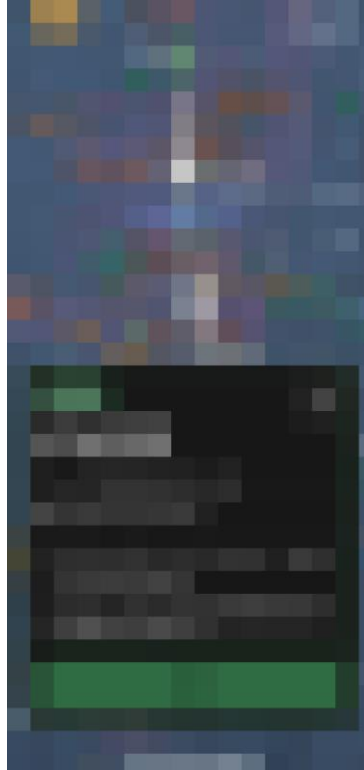
(図1)



320 円
15 分
2 km

金額比較 9.375 倍

(図2)



3000 円
11 分
0.8 km

(参考) ウーバーイーツ以外の料金

■クロネコヤマト宅急便（表1）

	関東→関東
コンパクト	720 円
60	940 円
80	1,230 円
100	1,530 円
120	1,850 円
140	2,190 円
160	2,510 円
180	3,060 円
200	3,720 円

最小最大比較 5.166667 倍

■バイク便（クイック即配便）（表2）

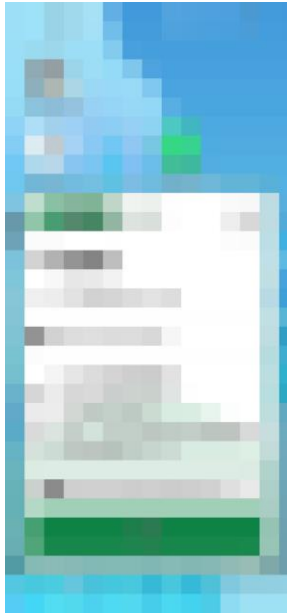
1km	1,452 円
2km	2,299 円
3km	2,662 円
4km	3,025 円
5km	3,388 円
6km	3,751 円
7km	4,114 円
8km	4,477 円
9km	4,840 円
10km	5,203 円

最短最長比較 3.583333 倍

<https://www.kuronekoyamato.co.jp/ytc/search/estimate/ichiran.html>

<https://www.sokuhai.co.jp/service/price.html>

(図3)



ウーバー社による報酬アルゴリズムの説明を読むと、
配達時間や需給バランス（注文数と配達員数の関係）によって報酬が決定されると
説明されています。加えて、受取場所や届け先が複数ある場合も報酬に反映されると
説明されていますが（赤文字下線）、2つの商品を届ける依頼内容でも1件配達する際の
最低料金と変わらないこともあります。（図3）

会社には、説明と実態が違うことを説明していただきたいです。
また、説明通り報酬に反映されるように修正していただきたいです。
(1件の最低金額が320円なのであれば、2件の場合は640円となるのではないのでしょうか？)

ウーバーイーツの報酬アルゴリズムの不明点を挙げさせていただきましたが、
「ダイナミックプライシング」というよりは、会社の都合の良いように報酬を自由に操作できる
「ブラックボックス化」された報酬アルゴリズムになっているのではないかと感じます。

最近の猛暑でフードデリバリーの需要が高まる中、
2024年7月20日頃から報酬アルゴリズムが事前説明なく変更（報酬減少）されたと感じている配達員が多くいます。（図4）

ウーバーイーツユニオンで行っている「報酬調査」では、1件あたりの単価が下がった配達員もいれば、
上がった配達員もいますが、もし、何らかの要因で報酬が下がるのであれば、会社は配達員に共有するべきではないでしょうか。

(図4)



ウーバーイーツユニオン
@uberunion2019

...

【ウーバーイーツの報酬アルゴリズム】
先週（7.15-7.21）あたりを境にウーバーイーツの報酬アルゴリズムが変わったと思いますか？



609票・最終結果

午前2:29・2024年7月22日・6,678件の表示

<https://x.com/uberunion2019/status/1815076719008895014>

2021年3月～5月以前の報酬アルゴリズムは距離を元に算出され、報酬アルゴリズムが明確だったため、コンスタントに配達件数をこなすことが報酬増に繋がっていました。

何km走り、何件配達すれば、いくらくらい稼げるかが分かっていました。

現在の報酬アルゴリズムは距離に関係なく、配達予定時間を基準に設定されていますが、低報酬（320円）と高報酬（3000円）の価格差が大きく、基本的に低報酬の案件が多く、たまに高報酬の案件が来るというギャブル性の高い仕様になっています。

日によって平均単価も変わるため（エリアによっても異なるかもしれませんが、東京エリアの自転車の場合、雨天を除いた平日～土曜日までは低単価で、日曜日は平日～土曜日に単価を抑えていた分高単価になるようです）、何km走って何件配達すれば、いくら稼げるかが分からず、今日8時間配達したのに8000円（最低賃金以下）、明日は同じ8時間でも16000円ということもあり、生活も不安定になります。

SNSでは高報酬の案件が目立って注目を浴び、配達員が低報酬の案件を拒否することが増えています。その結果、飲食店の商品が配達員に受け取られず、注文者にも商品が届かない懸念があります。

このように、報酬の不安定さが続くと、注文者や飲食店にとって信頼できるサービスを提供することが難しくなり、サービスの存続にも悪影響が出るのではないかと懸念しています。

以上、ウーバーイーツの報酬アルゴリズムに関して、調査いただけますようお願い申し上げます。

※図1～3は個人情報保護の観点から一部モザイク処理させていただいております。